

科目名	自動車総合整備実習							年度	2025
英語科目名	Automotive all-round maintenance exercises							学期	通年
学科・学年	自動車整備科 2 年次	必／選	必	時間数	96	単位数	3	種別※	実習+実技
担当教員	坪裕光、和田浩、村木亮治、馬場俊介、丸岡慎、非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士、自動車整備士		
【科目の目的】 実習車両を使用して、総合的な整備技術作業を理解する。									
【科目の概要】 実習車両を使用して、総合的な整備作業について学びます。									
【到達目標】 総合的な自動車の検査関係の基礎知識・点検整備を理解し、自動車の検査・法令関係の基礎知識・検査作業を学び、自動車の各部装置の点検整備を正確に行えるようになる、検査・点検整備を通じて測定の正しい方法、検査機器の使い方を身につけること、実習を通じてチームワークを学び協調性を身につけること、4Sの意味を理解し作業環境を整えることの重要性を学び、安全で正確な点検整備作業が出来るようになることを目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	安全作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	安全作業について積極的に学び、理解することができる	安全作業について学び、理解することができる	安全作業について理解できない	安全作業について理解する姿勢がない				
到達目標 B	自動車各装置の分解整備作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車各装置の分解整備作業について積極的に学び、理解することができる	自動車各装置の分解整備作業について学び、理解することができる	自動車各装置の分解整備作業について理解できない	自動車各装置の分解整備作業について理解する姿勢がない				
到達目標 C	自動車検査機器取扱作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車検査機器取扱作業について積極的に学び、理解することができる	自動車検査機器取扱作業について学び、理解することができる	自動車検査機器取扱作業について理解できない	自動車検査機器取扱作業について理解する姿勢がない				
到達目標 D	自動車整備作業方法（全般）について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車整備作業方法（全般）について積極的に学び、理解することができる	自動車整備作業方法（全般）について学び、理解することができる	自動車整備作業方法（全般）について理解できない	自動車整備作業方法（全般）について理解する姿勢がない				
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験を総合的に評価（100％）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

